



モンテネグロ

Montenegro

2007年11月現在



一般事情

- 1.面積 13,812平方キロメートル(福島県とほぼ同じ)
- 2.人口 62万人(2003年調査)
- 3.首都 ポドゴリツァ(人口15万人)
- 4.民族 モンテネグロ人(40%)、セルビア人(30%)、(2003年調査)
ボスニア系イスラム教徒(9%)、アルバニア人(7%)等
- 5.言語 モンテネグロ語(公用語)、セルビア語、ボスニア語等
- 6.宗教 キリスト教(正教)、イスラム教等
- 7.国祭日 7月13日(国家の日)
- 8.通貨 ユーロ
為替レート 1ユーロ = 約166円(2007年11月現在)
補助通貨単位 100セント = CENT/S
- 9.査証(ビザ)
- 10.在留邦人数 6名(2006年10月現在)
- 11.在日当該国人数 -
- 12.電源 - V - Hz
- 13.国際電話 国番号 ??? 国際通話コード ???
- 14.シガレット 小売価格 - US\$ (20本当り)
税率 - %
製造数量 - (百万本/年)
シガレットメーカー

15.略史

年月	略史
6~7世紀	モンテネグロ人等スラブ系民族がバルカン半島に定住。
11世紀	セルビア王国の一部となる。
1389年	コソボの戦いでセルビアがオスマン・トルコに敗退後もモンテネグロ地域の住民は実質的に独立状態を維持。
1878年	ベルリン条約によりモンテネグロ公国の独立承認。
1910年	公国から王国となる(1916年に王政廃止)。
1918年	第一次世界大戦後、セルビアに編入され、ユーゴスラビア王国の一部となる。
1941年	第二次世界大戦中、イタリアに占領される。
1944年	チトーを首班とするユーゴスラビア社会主義連邦共和国(6共和国で構成)の1共和国となる。
1992年	民族紛争とユーゴ解体の中で、セルビア共和国とともにユーゴスラビア連邦共和国を樹立。
2003年	セルビア・モンテネグロに国名変更
2006年	5月21日の住民投票を経て、6月3日、独立を宣言。
2007年	新憲法を制定(10月)し、国名をモンテネグロ共和国からモンテネグロに変更。

16.在外大使館・領事館 なし

17.駐日大使館・領事館 なし

政治体制・内政

- 1.政体 共和制
- 2.元首 フィリップ・ヴヤノヴィッチ大統領(2003年5月就任、任期5年)
- 3.議会 1院制(定数81名)
(構成)(2006年9月選挙、任期4年)

与党連立(社会主義者民主党、社会民主党)	41議席
セルビア人のリスト	12議席
市民グループ	11議席
変革運動	11議席
その他	6議席
- 4.政府 社会主義者民主党及び社会民主党から成る連立政権
首相: ジェリコ・シュトゥラノヴィッチ社会主義者民主党幹部会員(2006年11月就任、任期4年)

- 5.内政 (1)モンテネグロは歴史的にも政治的にもセルビアと密接な関係にあったが、2000年のセルビアにおけるミロシェビッチ政権の崩壊後、独立に向けた機運が高まりつつあった。EUの仲介により、昨年5月21日、住民投票を実施した結果、投票率86.5%、独立賛成案が55.5%で可決され、6月3日、モンテネグロ議会はモンテネグロの独立を宣言した。
(2)昨年9月の議会選挙では独立達成の祝賀ムードの中で連立与党が勝利した。10月初め、長年モンテネグロの政権を掌握してきたジュカノビッチ首相が辞任し、11月、シュトゥラノビッチ内閣が発足。

外交・国防

1.外交基本方針

EUへの加盟を最優先課題とし、欧州諸国等との関係強化に努めている。

2.軍事力

総兵力数は約2,400名(2007年2月、国防省発表)

経済

- 1.主要産業 観光業、製造業(アルミニウム等)、農業
- 2.GDP 23億米ドル(2006年、世銀統計)
- 3.一人当たりGNI 3,860米ドル(2006年、世銀統計)
- 4.経済成長率 4.1%(2005年)
- 5.物価上昇率 1.8%(2005年)
- 6.失業率 17%(2005年)
- 7.貿易額(2005年) (輸出)7.5億ドル
(輸入)10.6億ドル
- 8.主要貿易品目 (輸出)アルミニウム、鉄鋼、木工品
(輸入)自動車、機械、食料品
- 9.主要貿易相手国 (輸出)セルビア、イタリア、ギリシャ
(輸入)セルビア、イタリア、スロベニア
- 10.通貨 ユーロ
- 11.経済概要

近年、経済成長とインフレの抑制が見られ、マクロ経済状況は良好。観光は外資の導入によって成長部門となっており、インフラ整備、施設の充実、サービス向上が重要になっている。
高い失業率、大幅な貿易赤字の中、民営化、国営企業の構造改革に加え、密輸等組織犯罪対策が課題とされている。

経済協力

1.我が国の二国間援助実績

従来、セルビア・モンテネグロの一部として、医療、農業分野を中心とする無償資金協力及び研修員受け入れ等の技術協力を実施。
2006年12月、我が国はモンテネグロの中核病院医療機材整備のために4億5,300万円の無償資金協力を実施した。

二国間関係

- 1.政治関係 我が国は2006年6月16日、モンテネグロの独立を承認し、同年7月22日に外交関係を開設した。
- 2.経済関係 (1)日本の対モンテネグロ貿易額一品目(2006年)
輸出:5,460万円(鉄鋼)
輸入:309万円(ボイラー及び部品)
(2)日本の直接投資(2件):2001年12月、大同メタル(本社:名古屋)がコトル市の自動車用ベアリング工場を買収し、操業中。また、2002年9月、商船三井がピエラ港に船員研修センターを開
- 3.文化関係 我が国文化無償資金協力により、文化財保存用機材を供与。
- 4.在留邦人数 6名(2006年10月現在)
- 5.要人往来

(往)

年月	要人名
2006年6月	山中外務大臣政務官

(来) 無し。